

平成30年度学校教育教員養成課程

(前期日程)

小論文 (共通)

表 紙

[解答上の注意]

1. 試験開始後、表紙1枚、問題用紙3枚(問題1、問題2のA、問題2のB)、解答用紙表紙1枚、解答用紙3枚、下書き用紙1枚があるか、確認しなさい。
もし、欠落のある場合には挙手して、そのむねを申し出なさい。
2. 解答用紙表紙、解答用紙の受験番号欄に、受験番号を忘れずに記入しなさい。
3. 問題1は必答問題です。必ず解答しなさい。
4. 問題2は選択問題です。問題2のA、問題2のBのいずれか一つを選択して解答しなさい。
5. 解答用紙表紙にある受験問題選択表の選択問題の空欄のうち、選択した問題の空欄に「○」印、選択しない問題の空欄に「×」印を記入しなさい。
6. 解答は、それぞれの問題ごとに指定された解答用紙に、指定された文字数で、横書きで記入しなさい。
句読点も1字に数えます。
7. 解答用紙の太線 部分には、何も記入しないようにしなさい。
8. 選択しなかった問題の解答用紙には、全面に「×」印を書きなさい。
9. 試験終了後、解答用紙表紙、解答用紙3枚を回収します(全4枚)。
表紙1枚、問題用紙3枚、下書き用紙1枚は各自持ち帰りなさい(全5枚)。

平成30年度学校教育教員養成課程

(前期日程)

小論文 (共通)

問題用紙 全3枚 (その1)

問題 1

次の文章を読んで、設問に答えなさい。

人に向かって自分の考えを出していく、伝えていく力が、新しい学力には含まれる。しかし人前で自分の考えをまとめて話すには、思考力だけでなく、「勇気」が求められるだろう。

だが、プレゼンテーションというと高級な感じがするかもしれないけれども、すでに述べたように、じつは日本の小学校では、発表という形で繰り返しこの練習をしてきている。それが中学、高校と進むにつれ、発表の機会が減って、先生の話聞く受動的な時間が増えてくるのである。むしろ、中学・高校・大学において、発表（プレゼンテーション）の機会を増やしていこうというのが、新しい学力及びアクティブ・ラーニングの流れである。

人前で話すには、勇気や度胸が必要だ。聞く人数が増えればそれだけ緊張し、言葉がスラスラと出てこなくなりがちである。それを乗り越えるには、単純だが、「慣れ」が一番の特効薬である。

大学の授業で百名を前にして発表する学生は、前に出ると手足が震えるをよく言う。しかし、一度発表をすると、それがむしろ快感となり、二度目、三度目と自ら前に出てくるようになる。

コンパクトに内容をまとめて話せるように、事前に練習をすることも効果的である。重要なのは、一番大切なポイントや結論を最初に言うことだ。それから、具体的な段取りを説明する。テレビCMの時間がおよそ15秒なので、その感覚でコンパクトに説明できるように準備をするとよい。

その際、余計な言葉を言わずに、しっかりと意味が伝わる日本語で話すよう指導する。言い訳や前置きはなく、「え〜と」といった迷いの言葉も言わないように指示をする。そう指示した上で前に出て話をしてもらおうと、かなりテキパキと話ができるようになる。

メンタルの弱さが問題とされることが、現代の若者には多い。若者たち自身も、自分の精神力には不安を感じている。人前で話す勇気をしっかりと技として身につけていくことで、彼らは自分のメンタルの強さを感じることができるようになる。人前でのプレゼンテーションは、勇気を養成し精神力を鍛えるためには大変よいトレーニングである。

(齋藤孝『新しい学力』岩波書店、2016年による。原文は縦書き。表記を一部変更した。)

問1 人前で発表（プレゼンテーション）をすると、筆者はどのような力が身につくとしているか、200字以内でまとめなさい。

問2 人前で自分の考えをまとめて話すために、筆者の考えとは別にどのような工夫をしたらよいか、あなたの考えを400字以内で述べなさい。

平成30年度学校教育教員養成課程

(前期日程)

小論文 (共通)

問題用紙 全3枚 (その2)

問題2のA

平成25年12月、「和食；日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。資料を参考にして、下記の問いに答えなさい。

この資料は、政府が日本食文化をユネスコ無形文化遺産に登録申請する際に作成した紹介リーフレットからの抜粋です。

Respect for Nature

2012年3月、政府は「和食；日本人の伝統的な食文化」と題して、日本食文化をユネスコ無形文化遺産に登録申請しました。

申請では、「和食」を料理そのものではなく、「自然を尊ぶ」という日本人の気質に基づいた「食」に関する「習わし」と位置付けています。

さて、日本の食文化、とはどのようなものでしょうか。

特徴①：多様で新鮮な食材と素材の味わいを活用

日本の国土は南北に長く、海、山、里と表情豊かな自然が広がっているため、各地で地域に根差した多様な食材が用いられています。また、素材の味わいを活かす調理技術・調理道具が発達しています。

特徴②：バランスがよく、健康的な食生活

一汁三菜を基本とする日本の食事スタイルは理想的な栄養バランスとされています。また、「うま味」を上手に使うことによって動物性油脂の少ない食生活を実現しており、日本人の長寿、肥満防止に役立っています。

特徴③：自然の美しさの表現

食事の場で、自然の美しさや四季の移ろいを表現することも特徴の一つです。季節の花や葉などを料理にあしらったり、季節に合った調度品や器を利用したりして、季節感を楽しみます。

特徴④：年中行事との関わり

日本の食文化は、年中行事と密接に関わって育まれてきました。自然の恵みである「食」を分け合い、食の時間を共にすることで、家族や地域の絆きずなが強くなるのです。

守る。育てる。繋つなげる。

私たちの食文化を守り、育て、そして明日へと繋つなげていくには、まずは知ること、実践してみること。あなたが興味を持ってくれること、それが小さな、けれど大事な一歩です。

(農林水産省 http://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/ich/pdf/leaflet_j.jpg.pdfによる。
表記を一部変更した。)

問1 和食を知らない外国人に対して、和食とはどのようなものかを紹介する文章を150字以内でまとめなさい。

問2 和食に限らず、日本の伝統や文化を継承することについてどのように考えますか。また、継承するためには、どのような実践をすることが考えられますか。400字以内で述べなさい。

平成30年度学校教育教員養成課程

(前期日程)

小論文(共通)

問題用紙 全3枚(その3)

問題2のB 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

「この荷物、どこへ置きますか」と質問すると「ああ、どこか適当なところに置いておけばいいから」との返事。

これを「どこでもいい」と解してはいけません。この言葉は、「あなたの判断で、正に適した場所に置いてください」という意味だからです。「あなたの裁量にゆだねます」という相手のはからいなのです。ですから、立場によっては責任重大。この責任をわきまえている人が「あいつは使える」と評価されます。

「おでかけですか。どちらまで」に対する最も適した返答は「はい、ちょっとそこまで」という適きわまりない答えです。ものごとを適当に考えられない人は「行き先を答えていないではないか」と憤慨しますが、怒るほどのことではありません。相手はどこへ行くのかを詮索しているわけではなく、元気な姿が見られて嬉しいですという意味の挨拶をしているだけなので「ちょっとそこまで」でいいのです。あたたかいコミュニケーションだと思います。でも、会社でやっちゃ駄目ですよ。

話かわって日光東照宮にある陽明門。柱は地面に木が生えていた時と同じ向きで使うのが普通だそうですが、たくさんある柱の中に一本だけ上下が逆になっているものがあります。観光旅行で訪れるとガイドさんが必ず説明してくれる場所です。

「あんまりきっちりしていると魔物が入ると言われるのでこうなっているんですよ」の説明に、しっかりしすぎているゆえのもろさのようなものを感じたことがあります。

きっちりしすぎてスキがないために、いったん崩れると一気に崩壊しそうな人や物はたくさんあります。ある程度の「いい加減さ」は強いし、強いからこそ「いい加減」にもなれるのです。

サーカスのピエロはいい加減なことばかりしている道化者ですが、登場する場面の一番の経験者しかないと聞いたことがあります。危険な技を知りつくしていないと、演者の手助けをできないからだそうです。

(略)

人生は長い時間をかけて「いい加減」について教えてくれる先生です。

(名取芳彦『気にしない練習』三笠書房、2015年による。原文は縦書き。表記を一部変更した。)

問1 筆者はなぜ、「いい加減」を大切だと考えているか、150字以内でまとめなさい。

問2 筆者が述べる「いい加減」の意味について、問1をふまえて、学校生活のどんな時に「いい加減」でよく、どんな時に「いい加減」ではいけないのか、その理由も含め、あなたの考えを400字以内で述べなさい。